

「防災教育で学んだことを生かして」

～音楽室での上履き使用～

1年生は、総合的な学習で「防災教育」に取り組んでいます。その学習の中で、身の回りの災害時の危険箇所について調べ、その対応についても、考えてきました。今回、音楽室での上履き使用を考え、1年生の生徒が話し合い、代表者が「要望書」としてまとめました。「地震発生時に上靴をはいていれば、窓ガラスが割れたり、楽器などの障害物にぶつかったりする場合でも、怪我をすることなく、素早く非難することができる。」といった内容を提案しました。

授業で学習したことを、学校の生活改善に繋げ、規則やルールを自分たちの力で作り上げようとする姿勢が素晴らしいです。今後は、音楽室の清掃に力を入れたり、上靴の汚れ等に気を付けて入室することを実行していくことも求められます。きっと、穂積中学校の生徒の皆さんなら、達成できると信じています。

1月31日（月）から始める「穂中防災WeeK!」の中で、代表生徒から「音楽室の上履き使用許可」について全校生徒に伝える予定です。

